

【中国四国支部】

第124回 金属物性研究会  
—電子顕微鏡による微細組織解析—

材料の性能は微細組織と密接に関係しているため、材料開発の過程では微細組織の評価・解析が不可欠です。その中でも電子顕微鏡が担う役割は重要で、半世紀以上に渡って電子顕微鏡が活躍し続けています。さらにこの10年ほどの間に電子顕微鏡を用いた解析手法が飛躍的に発展し、これまで見る事ができなかった微細組織が解明されています。そこで、本研究会では基本的な事柄から最先端の研究結果まで電子顕微鏡に関するトピックを語り合いたいと思います。多数のご参加をお願い申し上げます。

主催 日本金属学会・日本鉄鋼協会中国四国支部

共催 香川大学工学部（予定）

日時 2016年1月13日（水） 13:00～16:55

場所 香川大学 工学部 6号館5階 6506教室

([http://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u\\_eng/hayashi/access/access\\_info/](http://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_eng/hayashi/access/access_info/)

[http://www.kagawa-u.ac.jp/files/6513/4379/9948/eng\\_20120801parking6.pdf](http://www.kagawa-u.ac.jp/files/6513/4379/9948/eng_20120801parking6.pdf))

1. 開催の挨拶（香川大学 田中康弘）

13:00～13:05

2. 研究会

13:05～13:50 座長：愛媛大学 水口 隆

①「透過型電子顕微鏡(TEM)を用いた材料組織解析—TEM像に映るコントラスト」

香川大学 工学部 材料創造工学科 田中 康弘

13:50～14:00 休憩

14:00～14:45 座長：香川大学 田中 康弘

②「先端電子顕微鏡法による機能性ナノ材料の原子的構造評価」

大阪大学 超高压電子顕微鏡センター 物質・生物応用研究分野 佐藤 和久

14:45～14:55 休憩

14:55～15:40 座長：大阪大学 佐藤 和久

③「航空機用チタン合金の組織制御とEBSDを活用した組織解析の事例」

香川大学 工学部 材料創造工学科 松本 洋明

15:40～15:50 休憩

15:50～16:35 座長：香川大学 松本 洋明

④「TEMでナノ組織を3次元観察する方法：電子線トモグラフィー」

九州大学 大学院総合理工学研究院 融合創造理工学部門 波多 聡

3. 総合討論（司会：香川大学 田中康弘）

16:35～16:55

参加申込 氏名・所属を明記のうえ、**1月8日(金)までにE-mailにて**下記へお申込下さい(当日参加も可ですが、できる限り事前に申し込みください)。

参加費 無料

世話人 田中康弘、松本洋明（香川大学）

申込・問合せ先 香川大学 工学部 材料創造工学科(微細構造解析グループ) 田中 康弘

Tel 087-864-2405, FAX 087-864-2438

E-mail:tanaka@eng.kagawa-u.ac.jp